

平成23年6月30日

記者発表資料

南九州西回り自動車道の 津奈木（仮称）トンネルの掘進長が4割を突破しました！！

- 国土交通省八代河川国道事務所が整備を進めている南九州西回り自動車道の津奈木（仮称）トンネル工事については、昨年11月よりトンネル本体の掘削工事を進めています。現在（H23年6月29日現在）までに掘進長が760mに達しました。
（全体1,848mの約4割）
- 現在、発破掘削により施工を行っており、1日平均約5～6mの掘進長になっています。（トンネル工事の完成は平成25年3月の予定です）
- 工事にあたっては、これまでも粉塵や騒音、濁水対策等を実施していますが、今後とも周辺環境にも十分配慮しながら、安全な施工に努めて行く予定です。

- ・津奈木トンネル（仮称・延長1,848m）は、平成27年度供用を目指し整備を進めている芦北IC～津奈木IC（仮称）間に計画している3つのトンネルの中で最も長いトンネルで現在掘削工事などを進めています。
- ・トンネル工事については、地元の方々の関心も高いことから、当事務所では、今後とも定期的に進捗状況等を発表していく予定です。

※津奈木（仮称）トンネルを始め南九州西回り自動車道の工事状況などの取材や現地での写真撮影をご希望の方は、下記までご連絡下さい。工事現場等への案内など対応させていただきます。

国土交通省九州地方整備局^{やつしろ}八代河川国道事務所

TEL：0965-32-4135（代）

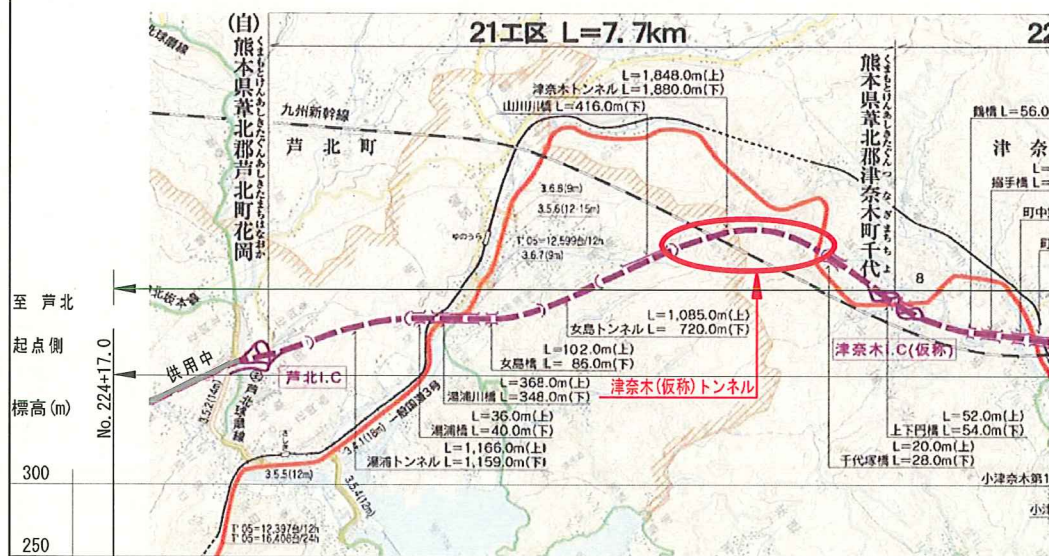
○現場の取材の申し込み先：

調査第2課長 田口 仁（内線451）、調査第2課 荒木 貴裕（内線218）

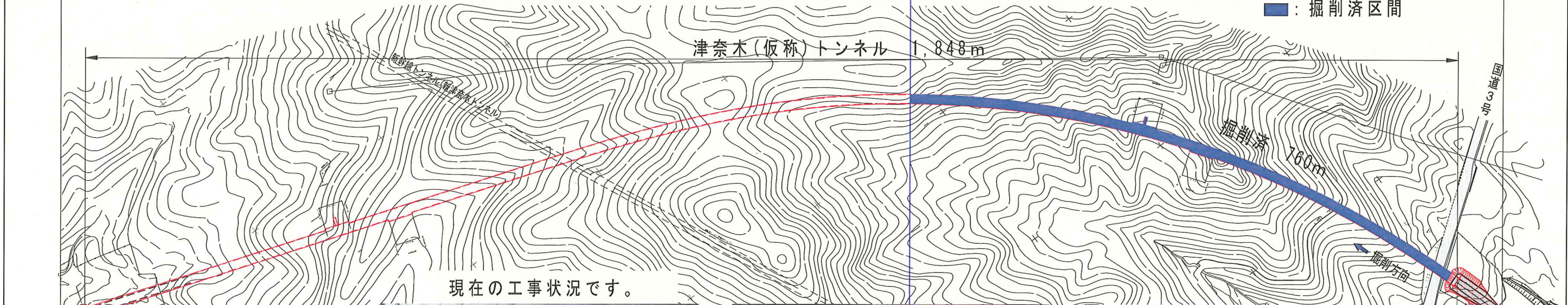
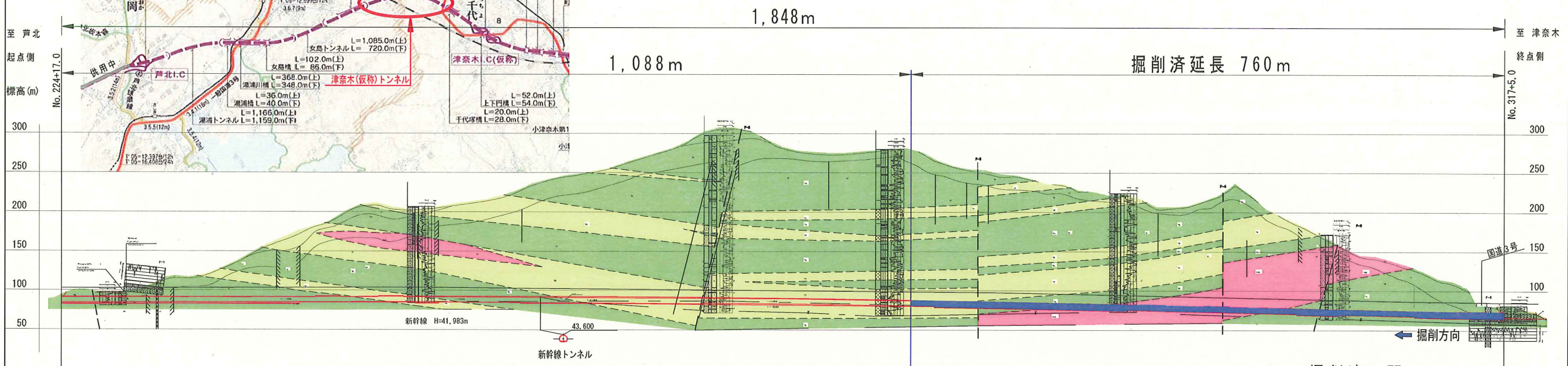
○工事内容についての問い合わせ先：

副所長（道路） 古木 慎一（内線205）工務第二課長 竹下 卓宏（内線411）

位置図



津奈木(仮称)トンネルの概要
 トンネル延長 1,848m
 工期 平成22年3月13日～平成25年3月20日
 現在の上半掘削延長 760m/1,848m (41%)



現在の工事状況です。



津奈木(仮称)トンネル工事の流れ

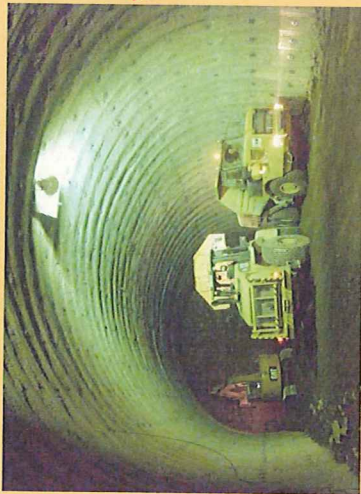
掘削



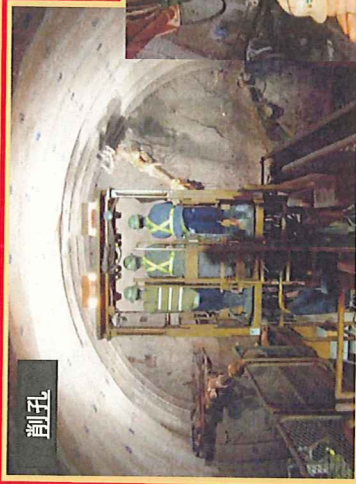
機械

ズリ出し

掘った土をダンプで外に運びます。



削孔



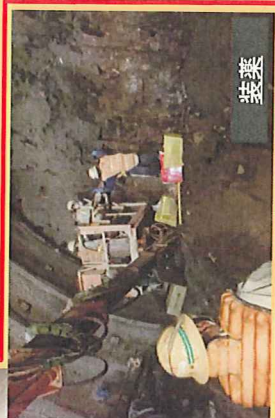
発破

火薬を使って岩を砕き、トンネルを掘ります。

現在の施工は発破を使用しています。

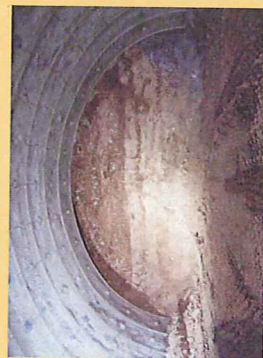
吹付

掘った内側にコンクリートにコンクリートを吹付けます。



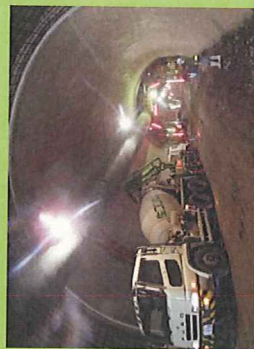
装薬

掘削完了



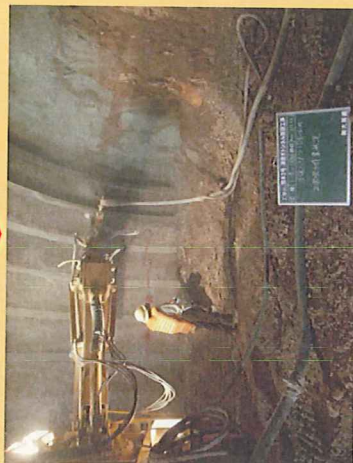
覆工コンクリート

トンネルの内側に型枠をセットして、コンクリートを流し込み、完成

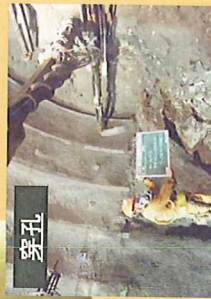


鋼製支保工建込

トンネルの形に曲げた鋼製の部材を、掘った所に設置します。



挿入



ロックボルト

地山に鉄筋を挿入し補強します。

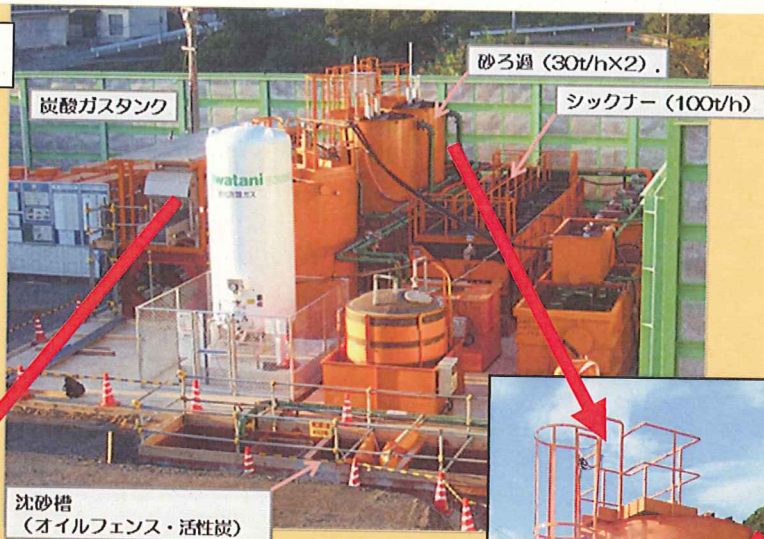


河川環境の保持に向けた取り組み事例

津奈木(仮称)トンネルでは、トンネル工事により発生する濁った水を「濁水処理設備」を用いて浄化し、河川(千代川)に放流しています。(なお、この浄化処理には、水道水の処理と同じ、安全な薬品や砂ろ過装置を使用しています)

この処理方法については、トンネル工事着手時に周辺住民の方へ現場見学会を開催した際にご説明をさせていただいています。

濁水処理設備全景写真



最終的に、汚れは集められ脱水されて固められます。



砂の層を通すことで、細かな汚れも取り除かれます。



汚れを浄化する前と後の様子(見学会での実験の様様)